

カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(カウンセリング学位プログラム\_博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATD100	カウンセリング方法論基礎I	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	広義のカウンセリング領域における基本概念整理を行い、文献検索による課題の絞りこみや様々な研究方法の概要について習得する。本科目においては広義のカウンセリング領域について基本概念や方法を学ぶことにより、人間の心身及び諸活動に関する幅広い知識と総合的視座を身に付けることを目的とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD101	カウンセリング方法論基礎II	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	論文の読み方・書き方等研究構想発表に向けた基本を学んだうえで、2年生の修士論文中間発表会・口述試験への参加により、自らの研究テーマを検討する。さらに検討を通して、研究テーマ・指導教員の選択などの検討を進め、修士論文作成への準備とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD102	カウンセリング方法論基礎III	2	1.0	1	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	2年生の修士論文中間発表会・口述試験への参加および自らの研究構想発表を通じて、研究テーマの決定・指導教員の選択など、修士論文作成への準備とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD103	カウンセリング研究法I	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	修士論文の作成に向けて、各指導教員のゼミに出席し、発表や議論を行う。春学期の指導では、文献レビュー、研究計画の検討、予備調査、研究倫理申請書類の作成を進める。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD104	カウンセリング研究法II	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	修士論文の作成に向けて、各指導教員のゼミに出席し、発表や議論を行う。秋学期の指導では、本調査の実施、データ分析、論文執筆を進める。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD201	カウンセリング心理学	1	2.0	1	春AB	土2,3	安藤 智子	カウンセリングとは、言語および非言語コミュニケーションを通して、行動変化を試みる人間関係である。その人間関係を研究対象とする、「カウンセリング心理学」に基づき、カウンセラーの意義と役割について明らかにするとともに、カウンセリング関係の成立条件、カウンセラーの資質と能力、職業倫理などを取り上げて、カウンセラーとして期待される態度と行動について学ぶ。授業では配付される講義資料とスライドを中心に進められる。また、カウンセリングの実際をより具体的に理解するために、適宜ワークシート、事例提示等を用いて講義する。受講者はカウンセリングの倫理について授業担当教員と契約を結ぶ必要がある。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD202	カウンセリング特別研究I	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	修士論文構想発表会に向けて、各研究室の教員の指導を受け、準備を進める。そのうえで、構想発表会にて、全教員の指導を受け、修士論文の執筆をすすめる。この過程において、研究発表のレジュメの作成方法や、パワーポイントによるプレゼンテーションの仕方についても学習する。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD203	カウンセリング特別研究II	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	修士論文中間発表会に向けて、各研究室の教員の指導を受け、準備を進める。そのうえで、中間発表会にて、全教員の指導を受け、修士論文の執筆をすすめる。この過程において、研究発表のレジュメの作成方法や、パワーポイントによるプレゼンテーションの仕方についても体験的に学ぶ。さらに、この期間に、研究倫理の申請書類を作成することを通して、研究倫理についての理解を深める。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD204	カウンセリング特別研究III	2	1.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	修士論文を完成させる。最終的には修士論文最終口述試験にて執筆した論文の内容について発表し、全教員の審査を受ける。審査の結果を踏まえて、自身の修士論文の修正を行う。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OAS0604	生涯発達とカウンセリング	1	1.0	1	春ABC	NT	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	生涯発達やカウンセリングに関する3つの領域(家族・福祉、学校・教育、産業・社会)について、カウンセリング学位プログラム担当教員がオムニバス形式で講義を行う。	オンライン(オンデマンド型) ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。
OATD301	生涯発達臨床心理学I	1	2.0	1・2				胎生期から成人期までの発達とそれを支える環境について概説する。また、乳幼児期から発達過程における心理臨床的な課題や、支援について論じる。特に、実験や観察等の映像も用いながら、具体的な行動のどこに発達的な特徴や支援の視点をみることができるのかを提示する。	2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATD302	生涯発達臨床心理学II	1	2.0	1・2	秋AB	木7.8	市倉 加奈子	本講義では、ひとの生涯発達の中でも特に中高年期から老年期に焦点を当て、加齢や老いに伴う心身の変化およびそれが日常生活に及ぼす影響について解説する。さらに、死をめぐる心理過程に関する理論を概観し、心理臨床支援に活かすための実践的理解を深めることを目的とする。全体を通して、課題や演習を活用して理解の深化を図る。	西暦偶数年度開講。 OATB133と同一。 オンライン(同時双方向型)
OATD303	学校心理学	1	2.0	1・2	秋AB	金7.8	飯田 順子	一人ひとりの子どもを対象とした心理教育的援助サービス(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション、コーディネーション)の理論と実践の体系である「学校心理学」について、講義、文献購読、実習を通して学習する。具体的には、現代の子どもがもつ学校生活での苦戦に対応した心理教育的援助サービスについて、実践例を通して検討する。また援助サービスのシステムやコーディネーターの役割について焦点をあてる。 *「学校心理士」申請における必須科目である。	西暦偶数年度開講。 対面
OATD304	学校教育相談	1	2.0	1・2	秋AB	月7.8	藤生 英行	認知行動カウンセリングの視点から、学校教育相談の実際について理解を深める。 とくに学校不適応の心理、不登校、いじめ、自殺予防、学校危機介入の課題を取り上げて講義する。 履修学生は、以下の授業発表レポートが課される。 障害発達の観点から(教育)相談の対象となる病理について、DSM-5、カプラン精神医学テキストをもとに、資料を作成し他学生に説明する。以下の6つの枠組みを1.疫学、2.病因、3.診断と臨床的特徴、4.鑑別診断、5.経過と予後、6.治療・介入など(カプラン参照)落とさないようにする。	西暦偶数年度開講。 対面
OATD306	職場のメンタルヘルス	1	2.0	1・2					西暦奇数年度開講。 OATB131と同一。 オンライン(同時双方向型)
OATD307	組織心理学	1	2.0	1・2				組織とは、人間からなり人間のためにある。その中で人間同士の相互作用により生じてくる心理学的・行動学的特性について学び、組織の在り方、制度、組織間の連携および運営などについて企業組織をベースに概観する。さらに、それぞれの受講者が所属する組織について事例発表、およびケーススタディを通じ、組織心理学に関する実際の課題について議論する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATD308	キャリア心理学	1	2.0	1・2	秋AB	土4.5	尾野 裕美	キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。	OATB134と同一。 対面
OATD309	人格心理学	1	2.0	1・2				心理学における重要な構成概念である人格(パーソナリティ)について、その概念、理論を解説するとともに、人格査定)の方法(心理テスト)について学ぶ。さらに、人格の障害としてのパーソナリティ障害について、その疾病概念、診断基準、病態、治療等について解説するとともに、他の精神疾患などの関連について解説する。	西暦奇数年度開講。
OATD311	非行・犯罪心理学	1	2.0	1・2	秋AB	火7.8	原田 隆之	非行・犯罪について、心理学的な観点から、社会的な不適応行動としてとらえ、その要因を生物学的、心理学的、社会的観点から多面的にとらえるとともに、非行・犯罪のアセスメント、治療方法について実践的に解説する。	西暦偶数年度開講。 OATB135と同一。 対面 オンライン(同時双方向型)
OATD312	家族心理学	1	1.0	1・2				家族心理学や家族療法に関する基本的な理論の学習とロールプレイを組み合わせることで、理論を実践的に学習する。まず、家族の構造と関係性、コミュニケーション理論、家族発達理論等について学び、問題をエコシステムに見立てる方法を学ぶ。その上で、家族・組織の中で、課題を抱える人に対するシステムック・アプローチの実際を、ロールプレイ等を通して実践的に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATD313	グループプロセス	1	2.0	1	春AB	土6,7	飯田 順子	グループプロセスについて体験的に理解し、学校、組織、地域におけるグループプロセス(グループカウンセリング、相互コンサルテーション、コーディネーション)について知識と方法を獲得する。またコミュニティアプローチをもちいて、グループづくり、傾聴、援助的関わりについて、体験的に学習する。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD314	心理・教育アセスメント	1	2.0	1				本講義では、主に教育・発達臨床領域で行われているアセスメントの理論的背景や原理について概説する。その上で、日本で使用されている代表的な心理検査の概要を学ぶとともに、実施方法や結果の分析方法を身につけ、心理臨床で行われているアセスメントの実際について理解を深める。	西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 対面(オンライン併用型)
OATD315	ヘルピング・スキル	1	2.0	1・2				心理・看護・医療・教育・福祉・司法・矯正・産業(会社、官公庁含む)でのヒューマン・援助(支援)サービスで必要とされる援助スキル全般を学習する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATD316	カウンセリング方法論	1	2.0	1・2				カウンセリングに関する基本的な知識や技術を習得する。カウンセリングで取り扱われる様々な問題について体験的に理解し、より効果的な援助を実践することができることをめざす。	西暦奇数年度開講。 ・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD317	心理療法	1	2.0	1・2	春C夏季休業中	月7,8	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)担当教員	心理療法は人間の心につつまれる諸問題の理解と援助に関する学問である。この授業では、心理臨床及び臨床心理学の歴史的背景、基礎となる理論、領域と対象、援助の実際、研究の現状について事例研究も交えながら、学習していく。	西暦偶数年度開講。 対面
OATD318	認知行動療法	1	2.0	-	秋AB	土2,3	市倉 加奈子	本講義では、認知行動療法の基礎となる学習理論および認知理論について概説し、これらの理論に基づく代表的な認知行動療法の技法を紹介する。実践での活用については、グループワークや討議を取り入れながら理解を深め、受講生参加型の講義として展開する。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD320	心身医学	1	1.0	1・2	秋ABC	水7,8	大井 雄一	心理社会的ストレスが原因となる神経症、うつ病などの精神性疾患や、種々の身体症状を呈する心身症が増加しつつあり、一般社会、職場、学校などにおけるメンタルヘルスが重要視されるようになって来た。この講義では心身医学、医療心理学の視点より、人間の精神と身体の関係についての理解を深め、ストレスに対する心と体の反応、ストレスと各種疾患の関係、さらにその予防と治療、対策について学習する。	西暦偶数年度開講。 ・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面 実施日程:10/14(水)、10/28(水)、11/11(水)、11/25(日)、12/9(水)いずれも7-8限
OATD321	心理・教育統計法	1	2.0	1	春AB	金7,8	藤 桂	社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。	OATB060と同一。 オンライン(同時双方向型)
OATD322	社会調査法	2	2.0	1	春C夏季休業中	土4,5	大塚 泰正	社会調査のスキル習得のために実習を行う。グループで小規模な調査を行い、データ解析を体験する。本実習は、カウンセリング学位プログラム所属の学生で「心理・教育統計法」を受講済みであることを受講要件とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面 日 程:7/4,7/11,7/18,7/25,8/1,8/8,8/29,9/5,9/12,9/19(予定)
OATD323	データ解析法	2	2.0	1	秋C春季休業中	金7,8	藤 桂	研究に必要なデータ解析の具体的な手法について、統計解析ソフトを用いて実習する。本授業は、原則として「心理・教育統計法」「社会調査法」を受講済みであることを基本要件とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 オンライン(同時双方向型)
OATD324	事例研究法	1	2.0	1・2	春C夏季休業中	木7,8	中村 准子	事例研究法は質的研究方法論の一つであり、事例研究のアプローチや質的なデータを用い、あるリサーチ・クエスチョンに答えようとするを目的とする。質的研究の対象は個人、事象、小集団、組織などであり、広範囲の学問領域、特に人間科学における実践的、臨床的領域で多く用いられている。本講座では心理学における質的研究や調査的面接法に関し演習を通して理解し、質的分析の一つである修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)について理論と実際の適用例を紹介する。	開講日 程:6/18,6/25,7/2,7/9,7/16,7/23,7/30,8/6,8/20,8/27 ・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在生にに限る。 対面
OATD325	エビデンス・ベースト・プラクティス特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	原田 隆之	臨床心理学におけるエビデンスに基づく実践について、理念や概念だけでなく、必要なスキルを実践的に学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATD327	対人社会心理学	1	1.0	1・2	春A	集中	松井 豊	現代社会の人間関係について、いくつかのテーマをとりあげ、心理学の研究動向を説明する。	西暦偶数年度開講。 4/12, 4/19, 4/26 ・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在学生に限る。 対面 開講日程:4/12(日)2-4限、4/19(日)2-4限、4/26(日)2-5限
OATD331	応用データ解析法特講	1	1.0	2	春B	集中	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)担当教員	研究に必要なデータ解析の応用的な手法について、統計解析ソフト(SPSS, AMOS)を用いて実習する。本授業は、原則として「心理・教育統計法」「社会調査法」「データ解析法」を受講済みであることを基本要件とする。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在学生に限る。 対面
OATD332	教授・学習心理学	1	2.0	1・2	春C	集中	鈴木 雅之	下記の内容を講義する。 1学習に関する基本的な理論と概念 2動機づけに関する主要な理論とその応用 3教授法の種類と学習を促す方法 4学習評価の役割と評価方法、効果的なフィードバック	短期留学生:授業の受講に必要な日本語能力を有すること 西暦偶数年度開講。 7/5, 7/12, 7/19, 7/26 ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 対面
OATD501	生涯発達カウンセリング基礎面接実習	3	1.0	1	春C夏季休業中秋C春季休業中	土2,3	安藤 智子, 原田 隆之, 飯田 順子, 大塚 泰正	【授業概要】 筑波大学心理・発達教育相談室心理相談部主催で行われるケースカンファレンスへの参加ならびに各教員によって行われる実習指導を通じて、相談実習に関する基礎的技術や相談内容のまとめと報告の方法を学ぶ。 ※本実習を履修する場合は、「カウンセリング心理学」を履修済みもしくは履修中であること。 【目的・ねらい】 相談の実例を通じた学習を通じて、カウンセリング各理論の理解を深めるとともに、相談記録のまとめ方や発表方法に関する基礎的理解を深める。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在学生に限る。 対面 開講日程:7/18, 7/25, 8/1, 8/2, 9, 9/12, 9/19, 1/23, 2/13, 2/20, 3/6(予定)
OATD502	生涯発達カウンセリング応用面接実習	3	1.0	2	春C夏季休業中秋C春季休業中	土2,3	安藤 智子, 原田 隆之, 飯田 順子, 大塚 泰正	【授業概要】 筑波大学心理・発達教育相談室心理相談部主催で行われるケースカンファレンスへの参加ならびに各教員によって行われる実習指導、同相談室での相談研修活動等を通じて、相談技術の向上とカウンセリング各理論の実践への応用方法を学び、対人援助における基礎的スキルを習得する。 ※本実習の履修は、「生涯発達カウンセリング基礎面接実習」を前年度までに履修し、単位を取得した学生に限る。 【目的・ねらい】 相談の実例を通じた学習を通じて、諸講義で学んだカウンセリング各理論が実際の相談場面でのように応用されているのかについての理解を深める。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在学生に限る。 対面 開講日程:7/18, 7/25, 8/1, 8/2, 9, 9/12, 9/19, 1/23, 2/13, 2/20, 3/6(予定)
OATD503	生涯発達カウンセリング特別面接実習	3	2.0	2	通年	随時	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)担当教員	【授業概要】 筑波大学心理・発達教育相談室他で行われる、生涯発達に関連した相談実習活動に参加し、それに対して指導助言を受けることを通じて、相談技術の向上を目指す。 ※本実習の履修は、「生涯発達カウンセリング基礎面接実習」を前年度までに履修し、単位を取得した学生に限る。 【目的・ねらい】 生涯発達に関連した相談の実例に参加し、今まで学習したカウンセリング各理論を実践活動の中で応用することを通じて、対人援助技術を向上させることを目指す。	・受講は、カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)の在学生に限る。 対面 オンライン(同時双方向型) 開講日程:変更はmanaba等でお知らせする